

野菜・果物の謎にせまろう！

東大阪市立義務教育学校池島学園後期課程

教科

国語

単元名

「ダイコンは大きな根？」

本単元で育む学びスキルと学校図書館活用スキル

F-STEP 4, C-STEP 3

D-STEP 4, G-STEP 4

該当番号の詳細内容は

「大阪府情報活用能力

ステップシート」から確認できます。



単元でつきたい力

(教科等でつきたい力)

- ・目的や意図に応じて、伝えたいことを明確にすることができる。
- ・書く内容の中心が明確になるように、段落の役割を意識して展開を考えることができる。(学校図書館等の活用でつきたい力)
- ・目的や意図に応じて日常生活の中から題材を決め、本やインターネットから集めた情報をもとに自分の意見を表現する。

単元における学習の展開(全9時間)(学校図書館等を活用した時間に☆印)

第1時	・意味調べ・本文音読・初読の感想を書く。
第2時	・本文を読み、問いと答えの段落に着目して文章構成を捉える。・文章の要旨を捉える。
第3時	・説明文の接続詞の用いられ方に着目して、筆者の説明の工夫を捉える。
第4時(☆)	「情報を整理して説明しよう」について ・本やインターネットを用いて、興味のある野菜・果物に関する事柄について調べる。 ・相手や目的意識をもって、調べた事柄から野菜・果物クイズを4つ作成し、班でクイズ大会を行う。
第5時	「ダイコンは大きな根？」を参考に、自分で調べた野菜・果物について説明する文章を書く。
第6時	・グループでの交流を通して、文章全体の段落構成と問いと答えの段落を意識した文章を書く。 ・書いた文章を交流する際に提示する資料を6枚のスライドで作成する。
第7時 本時	・ペアでのスライドを用いた文章構成に注目した意見交流を行う。 ・もらった意見をもとに文章を再構成する。
第8・9時	・書いた文章をクラス全体に発表し、相互評価を行う。単元のふりかえりを行う。

本時のねらい

- ・相手や目的に応じて、伝えたいことを明確にして、段落の役割を意識して展開を考える。

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	★学校図書等の活用により期待される効果 (言語能力育成のためのポイント)
導入 (5分)	1. 前時までの学習内容を振り返る。 ・自分が作成した説明文とスライドを確認する。	●指導上の留意点等 ★序論・本論・結論の内容や使える接続詞をノートにまとめておくことで、段落の役割や展開を工夫して文章を書く力を育む。 ●教師が作成した見本の発表資料と原稿を再度提示する。
展開 (40分)	2. 発表スライドと原稿の内容を確認する。 ・問いと答えが伝えたい意見につながっているかに着目した質問を行う。 ①横のペアで交流 ②前後のペアで交流 ※聞き手は、文章構成に着目した質問をする。 ※発表者は、文章構成の工夫を意識して答える。 ・自分の文章を見直し、再構成を行う。	●質問例を提示することで、問いと答えが伝えたい意見とつながっているかに注目した意見交流ができるようにする。 ★ワークシートに書きたし、再構成の大切さを実感できるようにすることで、より相手に伝わる文章を書く力を育む。 ●事実と意見をもとに伝えたい相手に伝わる文章構成になるように書きたす。 ●相手意識をもった終わり方になっているかを確認する。
まとめ (5分)	3. ふりかえり ・「文章構成」という言葉を用いてふりかえりを書く。 ・次時の見通しを持つ。	★キーワードを示すことで、学習のめあてに沿った振り返りを書くことができるようにする。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・「書くこと」の題材設定として「野菜・果物クイズ」をつくることで、意欲的に活動することができた。
- ・さらに、クイズを説明文に相応しい問いと答えの文に書き換えることで、目的や相手に応じた書き表し方を意識することができた。
- ・単元の学習が始まる前から教室に野菜や果物に関する図書を置いておくことで、図書の本を読んで、どの野菜・果物にするか興味をもって取り組めた。
- ・説明文を書く、話し合う、意見交流をもとに再度自分の書いた文章が伝えたい相手や目的にあっているかを確認するという単元構成にすることで、言葉を意識した文章を書くことができた。



1人1台端末で作成したスライドを見せながら、自分が書いた野菜・果物の説明文を読んでいる場面